

## 令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 78

千葉県立佐倉高等学校 全日制の課程 理数科

### 1 期待する生徒像

- ・理数系分野への興味関心が特に強く、学習活動に積極的に取り組み、進路希望の実現を目指して自己を向上させようとする生徒
- ・部活動、生徒会活動、学校行事等に意欲的に取り組み、入学後も自ら学校生活を充実させようとする生徒

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者6名から8名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ10分

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査 [600点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)のうち、数学・理科については得点を1.5倍する傾斜配点を行い、合計600点満点で評価する。

#### (2) 調査書 アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定2以下の教科がある場合、または選択教科に評定Cがある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	特に問題がある場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特別活動の記録、部活動の記録、特記事項で、特に顕著な実績がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。 特記事項で特に問題がある場合は、審議の対象とする。
オ 総合所見	特に問題がある場合は、審議の対象とする。

#### (3) 面接 [30点満点]

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(問題がある)の2段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ(a a～b b)で得点化する。なお、評価b bの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機、高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標・意識が明確で、学習・部活動等に意欲的に取り組もうとしている。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
イ 質問に対する応答、身だしなみ・態度	中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 基本的な面接作法が身に付いており、服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	調査書の得点	第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	面接	
600点	$(135 + \alpha - m)$ 点	30点	$(765 + \alpha - m)$ 点

（算式1）  $\alpha$ ：県が定める評定合計の標準値95

$m$ ：中学校評定合計平均値

##### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

#### 5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。